

最近の外来状況

今年は、ここ2年間と様子が異なります。

アデノウイルスによる咽頭結膜熱（プール熱）の発症が少なく、重症さんがいません。

伝染性紅斑（りんご病）、溶連菌、マイコプラズマ肺炎など、多くの感染症がパラバラと流行しています。

さらに暑いがために室内が冷房で冷えているため、鼻水、咳、ノドの痛み、便がゆるい（下痢）をする人が多く見られます。感染症というより「冷え」による症状がメインに見えます。温かい飲み物を摂るように意識しましょう。

生活のリズムの乱れも多く、睡眠不足の方も多そうです。熱中症は例年より多く見られますが、重症の方は少ないです。一旦熱中症になってしまうと、2-3日は全身倦怠感が強く、食欲不振が続きます。あとは、便秘の方が増えています。水分を摂っていても脱水傾向になりやすい状況のためか、便が乾燥して出にくくなっています。水分補給＋便秘薬の使用を試みます。



赤ちゃんがカゼをひく

生後6ヶ月には母子免疫の在庫がなくなります。

お母さんの免疫に守られていた状態が終了すると、今度は自分の免疫で対抗していくことになります。

兄姉がいると、生後3-4ヶ月からでも普通にカゼをひきます。ほとんど鼻カゼ（ライノウイルスが主たる原因ウイルス）です。1回ひいて終わりではなく、何回も何回も繰り返しかかります。そうやって免疫を付けていきます。

鼻汁を自分で作っていきりますが、鼻がかめなために呼吸困難を起こします。

鼻がつまると呼吸もしづらくなります。すると哺乳困難も起こします。

自宅のできる範囲で鼻汁吸引をやってみます。

さらにクリニックでも鼻汁吸引を行います。

西洋薬の抗ヒスタミン薬を飲ませると、さらに鼻閉が強くなるため、一般的に処方されないことが多いです。となると、対応する薬がありません。

漢方薬なら麻黄湯（まおうとう）が、乳児の鼻閉塞、

哺乳困難に適応があります。一口でも飲めれば良いです。

今の時期からカゼを治す練習をしておいて、

冬の本格的なカゼシーズンのために備えておきます。



便秘に使える漢方薬

① 便が乾燥してコロコロしている

⑫6 麻子仁丸

高齢者の方は、まずコレを試して下さい。

⑥1 桃核承気湯

便を出す力が落ちていると考えて、強い応答を引き出してくれます。

⑤1 潤腸湯

若い人はまずコチラから試してみましょう。

② おなかが冷えて痛い、出ない

⑩0 大建中湯

冷えて腹痛、腹部膨満のある方に試してもらいます。

あと一歩なら

⑩0 大建中湯 + ⑨9 小建中湯

この2つを併せて飲んでみます。⑩0 + ⑨9 = 中建中湯となります。



③ おなかが張って痛く、便が出ない

⑬4 桂枝加芍薬大黃湯

下痢の強さとしては弱いですが。高齢者でも使えます。

④ 超肥満、便秘

⑥2 防風通聖散

やせ薬ではありません。
最初下痢をする人が多いですが、
次第に落ち着いてくる人には合っています。



⑤ 便秘でおなかが前方に突き出ている男性

⑬3 大承気湯

大承気湯を試します。
ドッサリ出ることが多いです。



お知らせ

岐阜市の
漢方外来

8月 2日(土),
23日(土)

時間: 14:00-17:30
場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1)
※すべて「院外処方」です。

休診のお知らせ

8月 6日(水)

お盆休み

8月 12日(火) — 16日(土)